

Hello! ALT



町内の幼稚園、小・中学校で活躍するALT。どこの国の、どんな先生がいるのでしょうか。
ALTの皆さんを紹介するとともに、21年間と一番長い間、町でALTをしている渡邊クリスティーナ先生にお話を伺いました。

- 1 アイルランド
- 2 文命中学校
開成幼稚園
- 3 寿司
もんじゃ焼き

日本が大好き!

日本に旅行に来て、日本が好きになりました。元々子どもが大好きだったこと、日本で英語を教える仕事が多くあったことから、ALTになりました。



ピーター オショネシイ先生
Peter O'Shaughnessy

子どもたちをサポートしたい!

日本に来た当初、私自身、日本語が話せず苦労しました。英語が必要とされている今、日本の子どもたちが、英語でのコミュニケーションで苦労しないようにサポートしたいと思いALTになりました。

ジャンレイ サントス先生
Jan Ray Santos



- 1 フィリピン
- 2 開成南小学校
- 3 豚骨ラーメン
馬刺し

フィリピン
Philippines

- 1 出身
- 2 担当校
- 3 好きな日本の食べ物
は何ですか?

こんなコト聞きました!

どんどんチャレンジしてほしい!

カナダにいた時、将来小学校の先生になりたいと思っていました。元々、日本のことを勉強していて、旅行でも日本を訪れるくらい日本が好きでした。ご縁があって、2000年から21年間、開成小学校のALTを務めています。この21年間で、英語教育は扱う時間や内容が大きく変わりましたが、いつの時代も、町の子供たちは、積極的に英語でコミュニケーションを取ろうとするチャレンジ精神があります。素晴らしいことです。

英語を学ぶ上で大切なことは、声に出して、使ってみることです。「間違ったらどうしよう」と思わず、子どもたちにはどんどんチャレンジしてほしいです。



渡邊 クリスティーナ先生
Watanabe Kristina

- 1 カナダ
- 2 開成小学校
- 3 しゃぶしゃぶ

21年間開成小のALTをしています!

INTERVIEW



(※英語を専門的に教える教員。)

実際に活用できる外国語を学ぶために、ALTは欠かすことができない存在です。ネイティブならではの言葉の使い方や、発音などを補って来ています。各校に継続的に専属のALTがいることで、クラスや子どもたちの特徴をよく理解して、よりきめ細やかな指導や支援ができています。
また、専属なので休み時間や給食の時間など授業以外でも、子どもたちと接することができ、言葉は繰り返すことでも、使ったりすることで自然と身に付くため、ALTと過ごす時間が長いほど、子どもたちにとって、学びのチャンスが増え、よい影響があるのではないかと思います。

ALTと共に町内の小学校(2校)で、英語専科担当教員(※)として活躍する細川光輝先生(※)にお話を聞きました。